

平成二十八年経済産業省令第三十三号

電気事業法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う経過措置に関する省令

電気事業法等の一部を改正する等の法律（平成二十七年法律第四十七号）附則第五十一条第一項、第五十二条第一項、第三項及び第四項、第五十三項並びに第五十六条第二項の規定に基づき、並びに同法及び電気事業法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う経過措置に関する省令（平成二十八年政令第四十九号）第五条の規定を実施するため、電気事業法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う経過措置に関する省令を次のように定める。

（用語の定義）

第一条 この省令において使用する用語は、ガス事業法（昭和二十九年法律第五十一号）、熱供給事業法（昭和四十七年法律第八十八号）、熱供給事業法施行令（昭和四十七年政令第四百二十号）及び電気事業法等の一部を改正する等の法律（以下「改正法」という。）において使用する用語の例による。

（みなしガス小売事業者等による供給条件の説明等に関する経過措置）

第二条 電気事業法等の一部を改正する等の法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する省令（平成二十九年政令第四十号。次項において「整備等政令」という。）第三十五條第一項の場合におけるガス事業法施行規則（昭和四十五年通商産業省令第九十七号。以下「施行規則」という。）第十三条第一項の規定の適用については、同項第一号中「名称及び登録番号」とあるのは、「名称」とする。

2 整備等政令第三十五條第二項の場合における施行規則第十四條第二項の規定の適用については、同項中「次に」とあるのは、「第二号から第四号までに」とする。

第三条 改正法附則第十七條第三項の規定による届出をしようとする者は、様式第一のガス製造事業届出書を、経済産業大臣に提出しなければならない。

2 改正法附則第十七條第五号の経済産業省令で定める事項は、次に掲げるものとする。
一 電話番号、電子メールアドレスその他の連絡先

3 改正法附則第十七條第四項において準用するガス事業法第八十六條第二項の経済産業省令で定める書類は、次に掲げるものとする。

一 ガス製造事業の用に供するガス工作物の概要を記載した書面

二 届出者が連名で届け出た場合にあつては、届出者間の関係を記載した書類

三 主たる技術者の履歴書

四 届出者が法人である場合にあつては、当該届出者の定款及び登記事項証明書

五 届出者が法人の発起人である場合にあつては、当該法人の定款

六 届出者が地方公共団体である場合にあつては、当該申請者がガス製造事業を営むことについての議決に係る議会の会議録の写し

（指定旧供給区域等の変更の許可申請）

第四条 改正法附則第二十三條第一項の規定により指定旧供給区域等の変更の許可を受けようとする旧一般ガスみなしガス小売事業者は、様式第二の指定旧供給区域等変更許可申請書に次に掲げる書類を添えて、経済産業大臣に提出しなければならない。ただし、運転資金の額又は事業収支に及ぼす影響が軽微な場合には、第四号又は第五号の書類を添付することを要しない。

一 変更を必要とする理由を記載した書類

二 増加し、又は減少する指定旧供給区域等の境界を記載した図面

三 指定旧供給区域等を増加する場合は、増加する区域に対しガスの供給を開始する日以後三年内の日を含む毎事業年度におけるその区域内の用途別の需要の見込み及び供給の計画を記載した書類

四 指定旧供給区域等を増加する場合は、運転資金の額及び調達方法並びに借入金の返済計画を記載した書類

五 指定旧供給区域等を増加する場合は、増加する区域に対しガスの供給を開始する日以後三年内の日を含む毎事業年度における様式第三の収支見積書

六 指定旧供給区域等の増加に伴い、他からガスの供給を受ける契約を新たに締結し、又は変更する場合は、その供給をする者との契約書の写し

（指定旧供給区域等小売供給約款において定めるべき事項）

第五条 改正法附則第二十四條第一項の指定旧供給区域等小売供給約款は、次に掲げる事項について定めるものとする。

一 適用区域及び適用地点

二 料金

三 導管、ガスメーターその他の設備に関する費用の負担の方法

四 前二号に掲げるもののほか、ガスの使用者が負担すべきものがあるときは、その事項及び金額又は金額の決定の方法

五 ガス使用量の計測方法及び料金その他のガスの使用者が負担すべきものの徴収の方法

六 ガスの使用者に供給するガスの熱量の最低値及びガス事業法第十八條の規定により測定するガスの熱量の毎月の算術平均値の最低値

七 ガス栓の出口におけるガスの圧力の最高値及び最低値

八 ガスの使用者に供給するガスの最高燃焼速度、最低燃焼速度、最高ウォツベ指数及び最低ウォツベ指数（施行規則第十七條第一項第三号に規定する場合に限る。）

九 契約の申込みの方法及び解除に関する事項

十 導管、器具、機械その他の設備に関する一般ガス導管事業者、旧一般ガスみなしガス小売事業者及びガスの使用者の保安上の責任に関する事項

十一 供給の停止又は使用の廃止に関する事項

十二 前各号に掲げるもののほか、旧一般ガスみなしガス小売事業者及びガスの使用者の責任に関する事項その他ガスの供給条件に関する事項があるときは、その事項

十三 有効期間を定めるときは、その期間

十四 実施期日

（指定旧供給区域等小売供給約款の認可の申請等）

第六条 改正法附則第二十四條第一項の規定により指定旧供給区域等小売供給約款の設定の認可を受けようとする旧一般ガスみなしガス小売事業者は、様式第四の指定旧供給区域等小売供給約款設定認可申請書に、当該指定旧供給区域等小売供給約款の案及び次の書類を添えて、経済産業大臣に提出しなければならない。

一 旧一般ガスみなしガス小売事業者指定旧供給区域等小売供給約款料金算定規則（平成二十九年経済産業省令第十九号。以下「旧一般ガス料金算定規則」という。）の規定に基づいて作成した同令様式第一から第四まで、様式第五第一表、第二表、第二表補足及び第三表から第五表補足まで（同令第十二條に規定する事業者にあつては、第三表、第四表、第六表及び第六表補足）、様式第六並びに様式第十二の書類

二 旧一般ガス料金算定規則第二十八條の規定により同令第九條から第十四條までの規定とは異なる算定方法を定める旧一般ガスみなしガス小売事業者にあつては、同令の規定に基づいて作成した同令様式第十四の書類

三 ガスの使用者の負担となるべき金額（料金を除く。）の算出の根拠又は金額の決定の方法に関する説明書

改正法附則第二十四條第一項の規定により指定旧供給区域等小売供給約款の変更の認可を受けようとする旧一般ガスみなしガス小売事業者は、様式第五の指定旧供給区域等小売供給約款変更認可申請書に次の書類を添えて、経済産業大臣に提出しなければならない。

一 変更を必要とする理由を記載した書類

二 変更しようとする部分を明らかにした変更前の指定旧供給区域等小売供給約款

三 前条第二号の事項の変更（消費税及び地方消費税に相当する額（以下「消費税等相当額」という。）又はその額に係る表示若しくは請求の方法のみの変更（以下「消費税等相当額のみの変更」という。）を除く。）をしようとするときは、次に掲げる書類

イ 旧一般ガス料金算定規則第十五條第一項の事業者にあつては、同令の規定に基づいて作成した同令様式第六、様式第七及び様式第十二の書類

ロ 旧一般ガス料金算定規則第十六條第一項又は第十七條第一項の事業者にあつては、同令の規定に基づいて作成した同令様式第六及び様式第八若しくは様式第九の書類

ハ 旧一般ガス料金算定規則第二十七條第一項の事業者にあつては、同令の規定に基づいて作成した同令様式第十三の書類

ニ イからハまでに規定する場合以外の場合には、前項第一号及び第二号に規定する書類。ただし、旧一般ガスみなしガス小売事業者が、旧一般ガス料金算定規則第二十五條第一項の規定により指定旧供給区域等小売供給約款における指定旧供給区域等小売供給約款料金の調整に係る規定を変更することを理由として指定旧供給区域等小売供給約款の変更をする場合であつて、いずれのガスの使用者の支払うべき料金も増加しないと見込まれるときは、旧一般ガス料金算定規則様式第二第二表、様式第三第二表

二 旧一般ガス料金算定規則第二十八條の規定により同令第九條から第十四條までの規定とは異なる算定方法を定める旧一般ガスみなしガス小売事業者にあつては、同令の規定に基づいて作成した同令様式第十四の書類

三 ガスの使用者の負担となるべき金額（料金を除く。）の算出の根拠又は金額の決定の方法に関する説明書

改正法附則第二十四條第一項の規定により指定旧供給区域等小売供給約款の変更の認可を受けようとする旧一般ガスみなしガス小売事業者は、様式第五の指定旧供給区域等小売供給約款変更認可申請書に次の書類を添えて、経済産業大臣に提出しなければならない。

一 変更を必要とする理由を記載した書類

二 変更しようとする部分を明らかにした変更前の指定旧供給区域等小売供給約款

三 前条第二号の事項の変更（消費税及び地方消費税に相当する額（以下「消費税等相当額」という。）又はその額に係る表示若しくは請求の方法のみの変更（以下「消費税等相当額のみの変更」という。）を除く。）をしようとするときは、次に掲げる書類

イ 旧一般ガス料金算定規則第十五條第一項の事業者にあつては、同令の規定に基づいて作成した同令様式第六、様式第七及び様式第十二の書類

及び様式第四第二表は提出することを要しない。
四 前条第三号又は第四号の事項の変更をしよ
うとするときは、ガスの使用者の負担となる
べき金額の算出の根拠又は金額の決定の方法
に関する説明書

3 経済産業大臣は、第一項第二号に掲げる書類
を公表しなげなければならない。
(意見の聴取)

第七条 改正法附則第二十二条第四項の規定によ
りなおその効力を有するものとして読み替えて
適用される改正法第五条の規定による改正前の
ガス事業法第五十条第一項の意見の聴取は、経
済産業大臣、経済産業局長又は産業保安監督部
長又はそれらの指名する職員が議長として主宰
する意見聴取会によって行う。

2 経済産業大臣、経済産業局長又は産業保安監
督部長は、意見聴取会を開こうとするときは、
その期日の二十一日前までに、意見聴取会の期
日及び場所並びに事案の内容を審査請求人に対
し通知しなげなければならない。

3 利害関係人(参加人を除く)又はその代理
人として意見聴取会に出席して意見を述べよう
とする者は、意見聴取会の期日の十四日前まで
に、意見の概要及びその事案について利害関係
があることを疎明する事実を記載した文書によ
りその旨を経済産業大臣(経済産業局長又は産
業保安監督部長が開こうとする意見聴取会に係
る場合は、その意見聴取会を開こうとする経済
産業局長又は産業保安監督部長)に届け出なけ
ればならない。

4 経済産業大臣、経済産業局長又は産業保安監
督部長は、前項の規定による届出をした者のうち
から、意見聴取会に出席して意見を述べること
ができる者を指定し、その期日の三日前までに
指定した者に対しその旨を通知しなげればなら
ない。

5 経済産業大臣、経済産業局長又は産業保安監
督部長は、必要があると認めるときは、学識経
験のある者、関係行政機関の職員その他の参考
人に意見聴取会に出席を求めることができ、考
考人に意見聴取会に出席を求めることができ、考
考人に意見聴取会に出席を求めることができ、考

6 意見聴取会においては、審査請求人、参加
人、第四項の規定による指定を受けた者又はこ
れらの代理人及び前項の規定により意見聴取会
に出席を求められた者以外の者は、意見を述べ
ることができない。

7 意見聴取会においては、議長は、最初に審査
請求人又はその代理人に審査請求の要旨及び理
由を陳述させなければならない。

8 意見聴取会において審査請求人又はその代理
人が出席しないときは、議長は、審査請求書の
朗読をもって前項の規定による陳述に代えるこ
とができる。

9 審査請求人又は利害関係人の代理人は、その
代理権を証する書類を議長に提出しなげればな
らない。

10 意見聴取会に出席して意見を述べる者が事案
の範囲を超えて発言するとき、又は意見聴取会
に出席して不穏な言動をするときは、議長は、こ
れらの者に対し、その発言を禁止し、又は退場
を命ずることができ、
議長は、意見聴取会の期日又は場所を変更し
たときは、その期日及び場所を第四項の規定に
よる指定を受けた者及び第五項の規定により意
見聴取会に出席を求められた者に通知しなけれ
ばならない。
(旧一般ガスみなしガス小売事業者の旧認可供
給条件の承認)

第八条 改正法附則第二十五条の承認を受けよう
とする旧一般ガスみなしガス小売事業者は、様
式第六の旧認可供給条件承認申請書に次に掲げ
る書類を添えて、経済産業大臣に提出しなけれ
ばならない。
一 改正法附則第二十二条第一号ハに規
定する旧認可供給条件による供給を必要とす
る理由を記載した書類
二 料金又はガスの使用者の負担となるものの
金額を定めようとする場合にあっては、料金
の算出の根拠又はガスの使用者の負担となる
ものの金額の算出の根拠若しくは当該金額の
決定の方法に関する説明書

第九条 改正法附則第二十六条第三項の規定によ
る指定旧供給区域等小売供給約款の公表は、同
条第一項の認可を受けた日以後遅滞なく、営業
所及び事務所に添え置くとともに、インターネット
を利用することにより、インターネットを利用す
ることが著しく困難な場合には、インターネッ
トを利用することを要しない。
(公聴会)

第十条 経済産業大臣は、改正法附則第二十七条
の規定により公聴会を開こうとするときは、そ
の期日の二十一日前までに、件名、公聴会の期
日及び場所並びに事案の要旨を告示しなけれ
ばならない。

2 公聴会は、(経済産業大臣若しくは経済産業局
長又はその指名する職員が議長として主宰す
る。
3 公聴会に出席して意見を述べようとする者
は、その期日の十四日前までに、意見の概要を
記載した文書によりその旨を経済産業大臣(経
済産業局長が開こうとする公聴会に係る場合
は、その公聴会を開こうとする経済産業局長)
に届け出なければならない。

4 経済産業大臣又は経済産業局長は、前項の規
定による届出をした者のうちから、公聴会に出
席して意見を述べることができる者を指定し、
その期日の三日前までに指定した者に対しその
旨を通知しなげなければならない。

5 経済産業大臣又は経済産業局長は、必要があ
ると認めるときは、学識経験のある者、関係行
政機関の職員その他の参考人に公聴会に出席を
求めることができる。
6 公聴会においては、第四項の規定による指定
を受けた者又は前項の規定により公聴会に出席
を求められた者以外の者は、意見を述べること
ができない。

7 第四項の規定による指定を受けた者又は第五
項の規定により公聴会に出席を求められた者
は、病気その他の事故により公聴会に出席する
ことができないときは、意見を記載した書類を
議長に提出することができる。
8 公聴会に出席して意見を述べる者が事案の範
囲を超えて発言するとき、又は公聴会に出席し
ている者が公聴会の秩序を乱し、若しくは不穏
な言動をするときは、議長は、これらの者に対
し、その発言を禁止し、又は退場を命ずること
ができる。

9 議長は、公聴会の期日又は場所を変更したと
きは、その期日及び場所を第四項の規定による
指定を受けた者及び第五項の規定により公聴会
に出席を求められた者に通知しなげればなら
ない。
(指定旧供給地点の変更の許可申請)

第十一条 改正法附則第二十九条第一項の規定に
よる指定旧供給地点の変更の許可を受けようと
する旧簡易ガスみなしガス小売事業者は、様式
第七の指定旧供給地点変更許可申請書に次に掲
げる書類を添えて、経済産業大臣に提出しなけ
ればならない。ただし、指定旧供給地点の分割
又は統合による供給地点数の増加又は減少であ
ってその増加又は減少の数が七十未満である場
合には第三号から第六号までの書類を、運転資
金の額又は事業収支に及ぼす影響が軽微な場合
には第四号又は第五号の書類を、それぞれ添付
することを要しない。
一 変更を必要とする理由を記載した書類
二 増加し、又は減少する指定旧供給地点の位
置を記載した図面
三 指定旧供給地点を増加する場合は、増加す
る指定旧供給地点に対しガスの供給を開始す
る日以後三年内の日を含む毎事業年度におけ
るその指定旧供給地点の需要の見込み及び供
給の計画を記載した書類
四 指定旧供給地点を増加する場合は、運転資
金の額及び調達方法並びに借入金返済計画
を記載した書類
五 指定旧供給地点を増加する場合は、増加す
る指定旧供給地点に対しガスの供給を開始す
る日以後三年内の日を含む毎事業年度におけ
る様式第八の収支見積書
六 指定旧供給地点を増加する場合は、指定旧
供給地点小売供給を営むことに関する指定旧
供給地点における供給の相手方との契約書の
写し
(指定旧供給地点小売供給約款において定める
べき事項)

第十二条 改正法附則第三十条第一項の指定旧供
給地点小売供給約款は、次に掲げる事項につい
て定めるものとする。
一 適用地点
二 料金
三 導管、ガスメーターその他の設備に関する
費用の負担の方法
四 前二号に掲げるもののほか、ガスの使用者
が負担すべきものがあるときは、その事項及
び金額又は金額の決定の方法
五 ガス使用量の計測方法及び料金その他のガ
スの使用者が負担すべきものの徴収の方法
六 ガスの使用者に供給するガスの成分に関す
る事項
七 ガス栓の出口におけるガスの圧力の最高値
及び最低値
八 契約の申込みの方法及び解除に関する事項
九 導管、器具、機械その他の設備に関する旧
簡易ガスみなしガス小売事業者及びガスの使
用者の保安上の責任に関する事項
十 供給の停止又は使用の廃止に関する事項
十一 前各号に掲げるもののほか、旧簡易ガス
みなしガス小売事業者及びガスの使用者の責

任に関する事項

任に関する事項その他ガスの供給条件に関する事項があるときは、その事項

十二 実施期日

(指定旧供給地点小売供給約款の認可の申請)

第十三条 改正法附則第三十条第一項の規定により指定旧供給地点小売供給約款の設定の認可を受けようとする旧簡易ガスみなしガス小売事業者は、様式第九の指定旧供給地点小売供給約款設定認可申請書に、指定旧供給地点小売供給約款の案及び次の書類を添えて、経済産業大臣に提出しなければならない。

- 一 旧簡易ガスみなしガス小売事業者指定旧供給地点小売供給約款料金算定規則(平成二十九年経済産業省令第二十号。以下「旧簡易ガス料金算定規則」という。)の規定に基づいて作成した同令様式第一及び様式第二の書類
- 二 ガスの使用者の負担となるべき金額(料金を除く。)の算出の根拠又は金額の決定の方法に関する説明書

2 改正法附則第三十条第一項の規定により指定旧供給地点小売供給約款の変更の認可を受けようとする旧簡易ガスみなしガス小売事業者は、様式第十の指定旧供給地点小売供給約款変更認可申請書に次の書類を添えて、経済産業大臣に提出しなければならない。

- 一 変更を必要とする理由を記載した書類
- 二 変更しようとする部分を明らかにした変更前の指定旧供給地点小売供給約款
- 三 前条第二号の事項の変更(消費税等相当額のみの変更を除く。)をしようとするときは、旧簡易ガス料金算定規則の規定に基づいて作成した同令様式第一及び様式第二の書類
- 四 前条第三号又は第四号の事項の変更をしようとするときは、ガスの使用者の負担となるべき金額の算出の根拠又は金額の決定の方法に関する説明書

(意見の聴取)

第十四条 第七条の規定は、改正法附則第二十八条第四項の規定によりなおその効力を有するものとして読み替えて適用される改正法第五条の規定による改正前のガス事業法第五十条による意見の聴取を行うおとする場合に準用する。(旧簡易ガスみなしガス小売事業者の旧認可供給条件の承認)

第十五条 改正法附則第三十一条の承認を受けようとする旧簡易ガスみなしガス小売事業者は、様式第十一の旧認可供給条件承認申請書に次に

掲げる書類を添えて、経済産業大臣に提出しなければならない。

- 一 改正法附則第二十八条第一号ハに規定する旧認可供給条件による供給を必要とする理由を記載した書類
- 二 料金又はガスの使用者の負担となるものの金額を定めようとする場合にあっては、料金の算出の根拠又はガスの使用者の負担となるものの金額の算出の根拠若しくは当該金額の決定の方法に関する説明書

(指定旧供給地点小売供給約款の公表)

第十六条 改正法附則第三十二条第三項の規定による指定旧供給地点小売供給約款の公表は、同条第一項本文の認可を受けた日以後遅滞なく、営業所及び事務所に添え置くとともに、インターネットを利用することにより、これを行わなければならない。ただし、インターネットを利用することが著しく困難な場合には、インターネットを利用することを要しない。

(みなしガス小売事業者に対する立入検査の身分証明書)

第十七条 改正法附則第三十四条第三項の証明書は、様式第十二によるものとする。

第十八条 行政手続法(平成五年法律第八十八号)第十五条第一項の規定による通知は、聴聞を行うべき期日の二十一日前までに行わなければならない。

2 第十条第四項の規定は、聴聞に準用する。この場合において、「前項の規定による届出」とあるのは、「行政手続法第十七条第一項の許可の申請」と読み替えるものとする。

(消費税等相当額の表示に係る手続の特例)

第十九条 第六条及び第十三条の規定に基づき申請書を提出しようとする場合であつて、消費税等相当額を含めた料金の表示をしようとするとき及び消費税等相当額又はその額に係る表示若しくは請求の方法の変更をしようとするときは、これらの規定に掲げるもののほか、消費税等相当額並びにその額に係る表示及び請求の方法に関する説明書を提出しなければならない。(熱供給事業者等による供給条件の説明等に関する経過措置)

第二十条 電気事業法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う経過措置に関する政令(次項において「経過措置政令」という。)第五条第一項の場合における熱供給事業法施行規則(昭和

四十七年通商産業省令第四百十三号)第十一条第一項の規定の適用については、同項第一号中「名称及び登録番号」とあるのは、「名称」とする。

2 経過措置政令第五条第二項の場合における熱供給事業法施行規則第十二条第二項の規定の適用については、同項中「次に」とあるのは、「第二号及び第三号に」とする。

(指定旧供給区域の変更)

第二十一条 改正法附則第五十一条第一項の規定により、指定旧供給区域の変更の許可を受けようとするみなし熱供給事業者は、様式第十三の指定旧供給区域変更許可申請書に次に掲げる書類を添えて、経済産業大臣に提出しなければならない。ただし、第五号、第六号及び第八号に掲げる書類は、工事費、設備資金及び運転資金の額又は事業収支に及ぼす影響が軽微な場合には、添付することを要しない。

- 一 変更を必要とする理由を記載した書類
- 二 増加し、又は減少する指定旧供給区域の境界を明示した国土交通省国土地理院の発行に係る縮尺五万分の一の地形図並びに増加し、又は減少する指定旧供給区域内の主要な街路及び建物に記載した図面
- 三 指定旧供給区域を増加する場合にあつては、増加する区域において指定旧供給区域熱供給を開始する日以後五年内の日を含む毎事業年度におけるその区域内の用途別の需要の見込みを記載した書類
- 四 指定旧供給区域を増加する場合にあつては、これに伴い設置する主要な導管の内径別、温水、冷水又は蒸気(以下「温水等」という。)の温度別及び圧力別の総延長並びにその配置の状況を記載した図面
- 五 指定旧供給区域を増加する場合にあつては、様式第十四の指定旧供給区域工事費概算書
- 六 指定旧供給区域を増加する場合にあつては、増加する区域において指定旧供給区域熱供給を開始する日以後五年内の日を含む毎事業年度における様式第十五の指定旧供給区域収支見積書
- 七 指定旧供給区域の増加に伴い、他のみなし熱供給事業者から温水等の供給を受ける契約を新たに締結し、又は変更する場合にあつては、当該他のみなし熱供給事業者との契約書の写し

八 指定旧供給区域を増加する場合にあつては、所要資金の額及び調達方法並びに借入金返済計画を記載した書類

(指定旧供給区域熱供給規程)

第二十二条 改正法附則第五十二条第一項の指定旧供給区域熱供給規程は、次に掲げる事項について定めるものとする。

- 一 適用区域
- 二 料金の額又はその算出方法
- 三 導管、熱量計その他の設備に関する費用の負担の額又はその算出方法及び負担の方法
- 四 前二号に掲げるもののほか、指定旧供給区域熱供給を受ける者の負担となるものがある場合にあっては、その内容
- 五 使用量の計測方法及び料金その他の指定旧供給区域熱供給を受ける者が負担すべきものの徴収の方法
- 六 供給する温水等の温度及び圧力
- 七 供給する温水等の供給時間及び供給期間
- 八 指定旧供給区域熱供給を受ける旨の申込に関する事項
- 九 導管、器具、機械その他の設備に関する当該みなし熱供給事業者及び指定旧供給区域熱供給を受ける者の保安上の責任に関する事項
- 十 指定旧供給区域熱供給を受ける者が設置する施設に関する事項
- 十一 指定旧供給区域熱供給を受ける者が設置する施設の概要についての当該みなし熱供給事業者に対する通知に関する事項
- 十二 指定旧供給区域熱供給の停止又は指定旧供給区域熱供給を受けることの廃止に関する事項
- 十三 前各号に掲げるもののほか、当該指定旧供給区域熱供給に係る重要な供給条件がある場合にあっては、その内容
- 十四 有効期間を定める場合にあっては、その期間

十五 実施期日

第二十三条 改正法附則第五十二条第一項の規定により、指定旧供給区域熱供給規程の設定の認可を受けようとするみなし熱供給事業者は、様式第十六の指定旧供給区域熱供給規程設定認可申請書に次に掲げる書類を添えて、経済産業大臣に提出しなければならない。

- 一 前条第二号から第四号までに掲げる事項に関する説明書

